

A.Sharp の立体(8)

中川宏

シャープの立体 No.8 は、合同な扇形からなる60面体である。
おおまかには、正十二面体の面の中心から頂点に向かって薄くスライスすればこの形にはなるが、シャープは、扇形の鈍角頂点すべてが同一球面上に載るよう
に設計した。そのために計算には相当苦労したと記述している。
カタラン立体の扇形六十面体は扇形面すべてが同一球面に接するという条件で
ある。

Sharp's solid No.8 (60 semi-rhombs)

